

国名 ガーナ	HIV 母子感染予防にかかる運営能力強化プロジェクト
-----------	----------------------------

I 案件概要

事業の背景	<p>ガーナ政府は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に罹患した母親から5歳未満児への垂直感染を防止するために、「母親から子供への HIV 感染予防対策（prevention of mother-to-child transmission of HIV: PMTCT）」を強化してきた。また、ガーナ政府は、PMTCT がミレニアム開発目標 4「乳幼児死亡率の削減」、5「妊産婦の健康の改善」、6「HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止」を達成する鍵となると見てきた。この戦略としての重要性に鑑み、保健省、ガーナ・エイズ委員会、ガーナ保健サービスは、国連児童基金（UNICEF）、世界保健機関（WHO）及び国連エイズ合同計画（UNAIDS）等の開発パートナーの協力を得て、「ガーナ PMTCT 拡大計画 2011-2015」を策定した。同拡大計画の目標は、「国家 HIV/エイズ戦略計画 2011 年～2015 年」が掲げる、2015 年までの HIV 母子感染根絶という国家目標の達成に向けた努力を加速させることにあった。しかし、良質な包括的 PMTCT サービスの提供を促進するに当たって、ガーナ政府は、IEC（Information, Education, and Communication、啓発活動の一種）教材の不足、PMTCT サービスに関する使いやすしいマニュアルの欠如、監督体制の不備といった課題に直面していた。</p>										
事業の目的	<p>本事業は、グレーター・アクラ州の PMTCT サービスにかかる監督者の能力向上、PMTCT-IEC 教材を使用した PMTCT-IEC サービスの提供、PMTCT カウンセラーの PMTCT-IEC サービス提供能力の強化を行うことにより、グレーター・アクラ州において PMTCT-IEC サービスの提供体制の強化を図り、もってガーナの PMTCT サービスの質の向上に寄与することを目的とした。</p> <p>1. 上位目標：ガーナ国における PMTCT サービスの質が向上する。 2. プロジェクト目標：グレーター・アクラ州において、PMTCT-IEC サービス提供の行政体制が強化される。</p>										
実施内容	<p>1. 事業サイト：グレーター・アクラ州 2. 主な活動： (1) PMTCT 実務ハンドブックの作成と PMTCT にかかる支援型監督の研修の実施 (2) PMTCT-IEC 教材の作成と配布 (3) 様々な保健医療活動提供者を対象とした PMTCT 研修の実施 3. 投入実績</p> <table border="0"> <tr> <td>日本側</td> <td>相手国側</td> </tr> <tr> <td>(1) 専門家派遣：9 人</td> <td>(1) カウンターパート配置：21 人</td> </tr> <tr> <td>(2) 研修員受入：10 人</td> <td>(2) 土地・建物：プロジェクト執務室</td> </tr> <tr> <td>(3) 機材供与：車両、コンピュータ、プリンター、 プロジェクトター等</td> <td>(3) 現地業務費：プロジェクト執務室の共益費（電気、水道、電話）、印刷費等</td> </tr> </table>			日本側	相手国側	(1) 専門家派遣：9 人	(1) カウンターパート配置：21 人	(2) 研修員受入：10 人	(2) 土地・建物：プロジェクト執務室	(3) 機材供与：車両、コンピュータ、プリンター、 プロジェクトター等	(3) 現地業務費：プロジェクト執務室の共益費（電気、水道、電話）、印刷費等
日本側	相手国側										
(1) 専門家派遣：9 人	(1) カウンターパート配置：21 人										
(2) 研修員受入：10 人	(2) 土地・建物：プロジェクト執務室										
(3) 機材供与：車両、コンピュータ、プリンター、 プロジェクトター等	(3) 現地業務費：プロジェクト執務室の共益費（電気、水道、電話）、印刷費等										
協力期間	2012 年 4 月～2015 年 3 月	協力金額	（事前評価時）300 百万円、（実績）306 百万円								
相手国実施機関	ガーナ保健サービス（国家エイズ性感染症対策プログラム局、家庭健康局、グレーター・アクラ州保健局）、保健省、ガーナ・エイズ委員会										
日本側協力機関	公益財団法人ジョイセフ、公益財団法人結核予防会										

II 評価結果

【留意点】

- プロジェクト目標指標 2 の達成度は、産前健診においてカウンセリング及び HIV 検査を受けた妊婦の割合のみで評価を行った。他の 2 つの指標項目、すなわち PMTCT のために抗レトロウイルス治療（ART）を受けている HIV 感染妊婦の割合、及び PMTCT のために抗レトロウイルス薬（ARV）投与を受けている HIV 曝露児¹の割合は、ARV が ART センターを有する一部の医療施設でのみ処方されていたことから²、本事業の対象施設に適用するのは不適切と判断した。
- 上位目標の達成度は、指標 3 が上位目標（PMTCT サービスの質の向上）の結果として期待されるインパクト（スーパーゴール）に関するものであったために、指標 1 及び 2 で評価を行った。なお、指標 2 はプロジェクト目標の指標 2 と同様の内容であるが、対象がグレーター・アクラ州全域であるために、指標として適切であり、データも一部入手できた。

1 妥当性
<p>【事前評価時・事業完了時のガーナ政府の開発政策との整合性】</p> <p>本事業は、2015年までにHIV新規感染を半減することを包括的HIV/エイズ対策の目標のひとつとして掲げ、その実現に向けた最重要課題としてPMTCTを位置づけた「国家HIV/エイズ戦略計画2011-2015」に合致していた。</p> <p>【事前評価時・事業完了時のガーナにおける開発ニーズとの整合性】</p> <p>本事業はガーナのニーズに合致していた。事前評価時においては、国家エイズ性感染症対策プログラム局及びグレーター・アクラ州保健局は、国家ガイドラインに基づいてPMTCTサービスを提供する立場にあったが、サービス提供時に参照できる実務的ハンドブックが存在していなかった。そのため、サービスの質の標準化に向けたハンドブックの作成、サービスの質の維持向上に必要な支援型監督体制の構築、それらの運用のための訓練が早急に求められていた。事業完了時においては、PMTCT</p>

¹ HIV 感染のリスクに曝されている児童。

² 対象 5 施設のうち、ジェームスタウン産院及びセゲ保健センターは ART センターを有しておらず、ARV を処方していない。

の重要性を認識し、ガーナ政府はPMTCTサービス拡大に向けて注力していた。サービス拡大に当たっては、監督及びモニタリングに関する保健医療関係者の能力強化、並びに妊婦が自分で意思決定を行うために必要な情報を提供するためのPMTCT-IEC教材の作成が強く求められていた。

【事前評価時における日本の援助方針との整合性】

本事業は事前評価時における日本の対ガーナ援助方針と合致していた。「対ガーナ国別援助計画」（2006年9月）が掲げた4つの戦略プログラムのひとつは貧困地域における基礎生活環境の改善であり、地域保健改善と感染症対策が重点協力領域として位置づけられていた。

【評価判断】

以上より、本事業の妥当性は高い。

2 有効性・インパクト

【プロジェクト目標の事業完了時における達成状況】

プロジェクト目標は事業完了時までに達成された。本事業によって作成されたPMTCT実務ハンドブック及びIEC教材はガーナ保健サービスに承認され（指標1）、産前健診においてカウンセリング及びHIV検査を受けた妊婦の割合は、対象5施設において、その平均が政府目標値の95%を超えた（指標2）。

【プロジェクト目標の事後評価時における継続状況】

本事業の効果は継続している。PMTCT実務ハンドブック及びIEC教材の承認は継続している（指標1）。産前健診においてカウンセリング及びHIV検査を受けた妊婦の割合は、対象5施設すべてにおいて2015年時点で100%に至っており、その状態は事後評価時まで継続している（指標2）。

【上位目標の事後評価時における達成状況】

上位目標は事後評価時において一部達成されている。本事業が作成したPMTCT実務ハンドブック及びIEC教材は、国内全10州の関係保健医療機関その他の関係者に配布されているが（指標1）、グレーター・アクラ州において、産前健診においてカウンセリング及びHIV検査を受けた妊婦の割合（指標2-1）、並びにPMTCTのためにARTを受けているHIV感染妊婦の割合（指標2-2）はともに政府目標値に近づきつつあるが、目標値達成には至っていない。これは、全州的な資金不足、ARTセンターや先端診断機器といったインフラ設備の制約、調達の遅れ、職員の訓練不足、人手不足に起因している。

【事後評価時に確認されたその他のインパクト】

定量的データは入手できていないが、関係者の行動にいくつかのインパクトが見られる。州及び郡のHIVコーディネーター、助産師、対象施設へのインタビューによると、本事業によって保健医療従事者や助産師のカウンセリング技術と対患者姿勢が向上・改善されたことにより、HIV/エイズ感染者の自己卑下が顕著に減少し、カウンセリングや治療のために保健施設を訪れる患者が増加した。本事業による住民移転及び用地取得、その他の負の影響は発生していない。

【評価判断】

よって、本事業の有効性・インパクトは高い。

プロジェクト目標及び上位目標の達成度

目標	指標	実績																																																
プロジェクト目標 グレーター・アクラ州において、医療機関によるPMTCT-IEC サービス提供体制が強化される。	指標 1 ガーナ保健サービス（国家エイズ性病対策プログラム局、家庭保健部）によって、プロジェクトで作成した PMTCT 実務ハンドブック及び IEC 教材が承認される。	達成状況：達成（継続） （事業完了時） PMTCT 実務ハンドブック及び IEC 教材は、2013 年にガーナ保健サービスによって承認され、印刷されて、関係保健医療機関及び保健事業並びに国内全 10 州の関係者に配布された。 （事後評価時） 事後評価調査において訪問した保健医療施設にて、ガーナ保健サービス及び保健省のロゴが入ったハンドブック及び IEC 教材が確認された。																																																
	指標 2 プロジェクト対象施設において、PMTCT に関するプロジェクト期間最終年の政府目標予測値を達成している。 （具体的には、産前健診においてカウンセリング及び HIV 検査を受けた妊婦の割合、PMTCT のために ART を受けている HIV 感染妊婦の割合、PMTCT のために ARV 投与を受けている HIV 曝露児の割合など。）	達成状況：達成（継続） （事業完了時）（事後評価時） プロジェクト対象施設において、産前健診においてカウンセリング及び HIV 検査を受けた妊婦の割合（政府目標予測値：95%）単位：% <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>2011</th> <th>2013</th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リッジ病院</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>98</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ジェームスタウン産院</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>98</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>アダ保健センター</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>97</td> <td>104</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>カッセ保健センター</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>62</td> <td>105</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>セゲ保健センター</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>77</td> <td>99</td> <td>91</td> <td>102³</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年	2011	2013	2014	2015	2016	2017	リッジ病院	-	-	98	100	100	100	ジェームスタウン産院	-	-	98	100	100	100	アダ保健センター	-	-	97	104	100	100	カッセ保健センター	-	-	62	105	100	100	セゲ保健センター	-	-	100	100	100	100	平均	77	99	91	102 ³	100
年	2011	2013	2014	2015	2016	2017																																												
リッジ病院	-	-	98	100	100	100																																												
ジェームスタウン産院	-	-	98	100	100	100																																												
アダ保健センター	-	-	97	104	100	100																																												
カッセ保健センター	-	-	62	105	100	100																																												
セゲ保健センター	-	-	100	100	100	100																																												
平均	77	99	91	102 ³	100	100																																												
上位目標 ガーナ国における PMTCT サービスの質が向上する。	指標 1 プロジェクトで作成した PMTCT 実務ハンドブック及び IEC 教材がグレーター・アクラ州以外の 2 つ以上の州に導入される。	（事後評価時）達成 本事業で作成した PMTCT 実務ハンドブック及び IEC 教材は、事業完了時において既に国内全 10 州の関係保健医療機関、保健事業、関係者に配布されている。																																																

³ 一部の保健センターで達成度が 100%を超えているのは、ART センターを有しない他の保健医療施設からの紹介患者（リファラル）を受け入れているためである。

指標 2 グレート・アクラ州において、「ガーナ PMTCT 拡大計画 2011-2015」に記載されている政府目標値を達成している。	(事後評価時) 一部達成 グレート・アクラ州において、産前健診においてカウンセリング及び HIV 検査を受けた妊婦の割合 (政府目標値: 95%) 単位: %											
	<table border="1"> <tr><td>年</td><td>2011</td><td>2013</td><td>2015</td><td>2016</td><td>2017</td></tr> <tr><td>%</td><td>-</td><td>71</td><td>89</td><td>86</td><td>89</td></tr> </table>	年	2011	2013	2015	2016	2017	%	-	71	89	86
年	2011	2013	2015	2016	2017							
%	-	71	89	86	89							
指標 3 HIV に感染している母親から生まれた新生児 (子ども) の割合が減少する。	グレート・アクラ州において、PMTCT のために ART を受けている HIV 感染妊婦の割合 (政府目標値: 90%) 単位: %											
	<table border="1"> <tr><td>年</td><td>2011</td><td>2013</td><td>2015</td><td>2016</td><td>2017</td></tr> <tr><td>%</td><td>-</td><td>51</td><td>62</td><td>59</td><td>79</td></tr> </table>	年	2011	2013	2015	2016	2017	%	-	51	62	59
年	2011	2013	2015	2016	2017							
%	-	51	62	59	79							
グレート・アクラ州において、PMTCT のために ARV 投与を受けている HIV 曝露児の割合 (政府目標値: 90%) 単位: % データ未入手												
(事後評価時) 不適用 本指標は、上位目標 (PMTCT サービスの質の向上) に関する指標ではなく、PMTCT サービスの質の向上の結果としてもたらされるインパクト (スーパーゴール) に関するものであるため、不適用とする。												

出所: プロジェクト事業完了報告書 (2015 年)、郡保健情報管理システム、グレート・アクラ州保健局 HIV ユニット対象質問票及びインタビュー調査

3 効率性

協力期間は計画以内 (計画比100%) であったが、協力金額は計画を超過した (計画比102%)。なお、アウトプットは計画通りに産出された。よって、本事業の効率性は中程度である。

4 持続性

【政策制度面】

ガーナ政府は、「国家HIV/エイズ戦略計画2011年～2015年」を2016年～2020年版に改訂したことに加え、UNAIDSの90-90-90目標⁴の達成を目指す新たな政策方針を策定するなど、HIV/エイズ関連の政策の更新に努めている。90-90-90目標達成のためにガーナ政府が定めたHIV/エイズ戦略枠組みのひとつは、亜郡⁵レベルの全面的なPMTCT展開を目標としている。したがって、政策制度面における本事業による効果の持続は期待できる。

【体制面】

事業完了時以降、PMTCT関係の組織体制及び所掌業務に大きな変化はないが、90-90-90目標や、test and treat all戦略⁶といった新たな政策が導入されたことにより、業務量が増大している。PMTCTの担当職員数、特に州保健局、病院、保健センターの担当職員数は、事業実施中から大きく変わっておらず、増大する業務に対して人員不足の度を増している。郡HIVコーディネーターによると、郡事務所は、保健施設への4半期ごとの支援型監督に加えて、保健施設や助産師を訪問し、あるいはワッツアップ (スマートフォンの簡易メッセージアプリ) による連絡網を用いて、彼らとの定期的なコミュニケーションと情報共有を維持している。この密なコミュニケーションがPMTCTサービスの質の確保に貢献している。

【技術面】

本事業のガーナ側カウンターパートのほとんどは、以前の職務を継続しており、日々の業務を通して、あるいは国内外の会議やワークショップに参加することによって、その知識と技能を維持している。彼らの中には、早期幼児診断のファシリテーター、州支援型監督のリーダー、意思決定権者等に昇格した者もいる。本事業に関わった、州、郡、施設の職員は、継続的な実践と学習を通して知識と技能を維持している。開発パートナーが提供する研修の他に、グレート・アクラ州保健局及び国家エイズ性感染症対策プログラム局が、早期幼児診断及びPMTCTに関する年次研修を実施している。本事業が作成した教材・資料に関しては、支援型監督用チェックリストや来院予約を記した双方向コミュニケーション型カード等の活用度が高い。活用度が高いために、それらが品切れとなり、財政的制約から増刷できない保健センターが見受けられる。ビデオドラマ「ママの決断 (Mama's Determination)」は、テレビやDVDプレイヤーの不具合のため、一部の施設でしか活用されていない。

【財務面】

HIV/エイズ関連の活動予算は、外部資金、特に世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (世界基金) への依存度が高い (表 1)。ガーナは世界基金の2020年～2022年支援サイクルの有資格国にあげられているため、2022年まで資金が配分される見込みは高い。また、国の経済力や疾病負担が近い将来に急激に変化することは考えにくいため、2022年以降の世界基金による資金支援の継続が予想される。

【評価判断】

以上より、実施機関の体制面及び技術面に一部問題があり、本事業によって発現した効果の持続性は中程度である。

表 1 世界基金からの HIV/エイズ関連への基金額

単位: 千 US ドル

年	2014	2015-2017	2018-2020
総額	14,591	97,900	66,436

出所: 国家エイズ性感染症対策プログラム局年次報告書 (2014年、2015年、2016年)

5 総合評価

本事業は、PMTCTのためのハンドブック及び IEC 教材を作成し、産前健診においてカウンセリング及び HIV 検査を受けた妊婦の割合を増加させて事業目標を達成した。事業効果を州全域に展開するという上位目標は部分的達成に留まっている。持続性に関しては、州保健局、病院、保健センターの人材が十分とは言えないが、保健医療関係者のコミュニケーションの改善

⁴ 2020年までに、HIV感染者の90%が感染を自覚し、診断を受けた感染者の90%以上が持続的なARTを受け、治療中の感染者の90%以上でウイルス抑制状態を達成することを目指した治療目標。(出所 "90-90-90 An ambitious treatment target to help end the AIDS epidemic," 2014, UNAIDS)

⁵ 郡の一段下のレベルの行政区 (sub-district)。

⁶ WHOが提唱する戦略で、診断後すみやかにすべてのHIV感染者にARTを提供するというもの。(出所 "Progress Report 2016: Prevent HIV, Test and Treat All," 2016, WHO)

と関係職員の技術レベルを維持することで、PMTCTの質の確保を図っている。効率性に関しては、事業費が計画を上回った。以上より、総合的に判断すると、本事業の評価は高いといえる。

III 提言・教訓

実施機関への提言：

- ・体制面の持続性を高め、PMTCTを含むHIV/エイズ関連の作業量の増大に対応するために、国家エイズ感染症対策プログラム局及びグレーター・アクラ州保健局には、州保健局、病院、保健センターへの人員増を保健省に要求するとともに、住民ボランティアを育成するなどして業務負担の分散を図ることを提言する。
- ・技術面の持続性を高め、本事業の効果を他州に広めて上位目標の達成に寄与するために、国家エイズ感染症対策プログラム局及びグレーター・アクラ州保健局には、監督者用チェックリストや双方向コミュニケーション型カード等の本事業が作成した教材・資材を増刷し配布することを提言する。また、本事業が作成したビデオドラマ「ママの決断」その他の視聴覚教材を有効活用するために、故障したテレビやDVDプレイヤーの修理あるいは買い替えが望まれる。
- ・財務面の持続性を高めるために、ガーナ政府には、国家HIV/エイズ基金（ガーナ・エイズ委員会やHIV/AIDSに関する活動を実施する団体等に割り当てられる法定予算）の実行を促進することにより、PMTCT活動のための資金を自己資金で賄う努力を継続することを提言する。

JICAへの教訓：

- ・本事業においては、プロジェクト目標及び上位目標の7つの指標のうち、3つの指標が不適切なために不適用とした。指標は事業の目標でありかつ事業目標の定義でもある。適切な目標とその定義がなければ、事業を適切に運営管理し評価することは難しい。そのため、事業の計画段階で指標を設定するに際しては、入念で慎重な配慮が求められる。



保健センターで活用されている
ビデオドラマDVD「ママの決断」とDVDプレイヤー



次回来院日が記載された
双方向コミュニケーション型母親カード